

日本人の海外留学が増加する今、 アメリカの大学として思うこと

TUJ BRIDGE PROGRAM & ACADEMIC ENGLISH PROGRAM

ディレクター 水沼 恵美子

本日の項目

- ▶ Part I. アメリカの大学の本音: 私たちは誰を作っている?
- ▶ Part II. 大学留学の現実 1: 英語力、学力、目的が足りない
- ▶ Part III. 大学留学の現実 2: それでも大学は容赦しない
- ▶ Part IV. 日本人留学生の声: 開始2週間後に彼らが思うこと
- ▶ Part V. 留学準備: 日本でもっとできることがある
- ▶ Part VI. 究極の提案: グローバルスタンダードを目指したカリキュラム作り

はじめに

- ▶ 私たちが「日本人はこのように考えているのではないか？」と思うこと
 1. 留学 = 英語が上達する
 2. 留学 = 短くてもしないよりはいい
 3. 日本人は英語ができない = 日本の英語教育のせい

Part I. アメリカの大学の本音

私たちは誰を育てている？

私の役割

- ▶ Domestic から Global への橋渡し
- ▶ 私たちが教えていること

1. 英語

Academic English. Academic Englishは学生や研究者が使用する言語というだけでなく、Business Englishの土台である

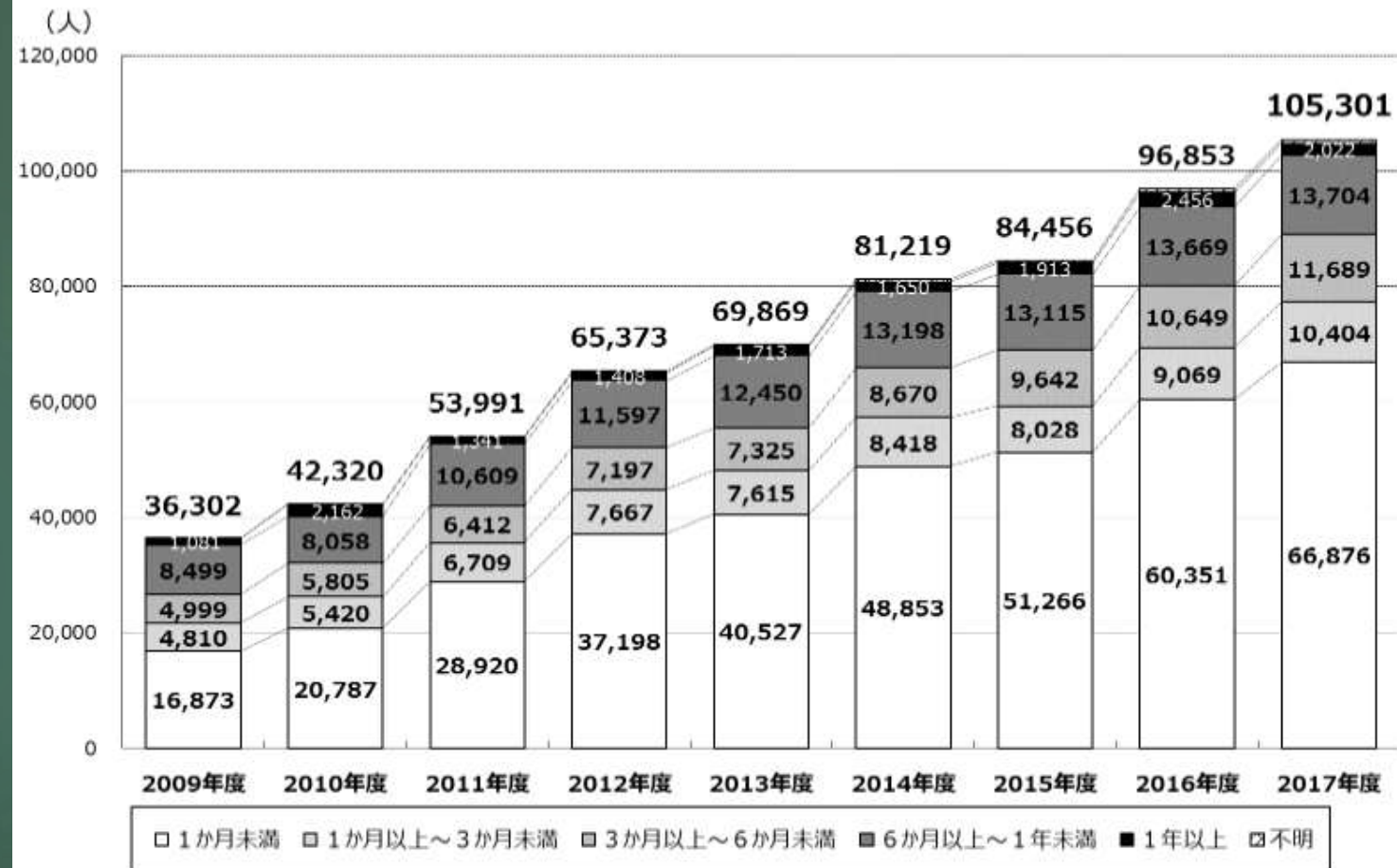
2. アカデミックスキル

Skills needed in class such as how to...

read a text book, take notes in class, take tests, participate and lead discussions, do research, use the library, write formally and logically, quote and cite, avoid plagiarism, present, speak to professors, seek assistance when needed, etc.

私たちの疑問

①留学期間別留学生数の推移



「ほとんどが1年未満の留学」の意味

▶ Positives

より多くの若者が海外に出て視野を広げ、最低限の英語でのコミュニケーションができるようになるかもしれない。

▶ Negatives

中途半端な視野と英語力しか身につかないかもしれない。

文部科学省が見る「留学のメリット」

文科省が強調する「留学で得られる6つの成長経験」

1. 視野の広がり
2. 世界への関心
3. 多様性受容
4. アイデンティティ
5. 自己肯定感
6. ストレス耐性

私たちの本音

- ▶ 人としての成長の手助けだけ？
- ▶ 私たちは誰を作ってるの？履歴書を見栄えよくしたい人？ほかの日本人よりも少し英語ができる人？それとも...将来のグローバルリーダー？
- ▶ 大学留学するなら、「語学力」や「異文化理解力」だけでなく、大学の授業で教えた知識や専門知識を留学後に活かしてほしい。。。

Part II. 大学留学の現実 1

英語力、学力、目的が足りない

1. 英語力の不足

- ▶ 指示が理解できない。
- ▶ ネイティブ向けの教科書が理解できない。
- ▶ 早く読めない。
- ▶ 教授や大学スタッフと礼儀をわきまえた年相応な質問ができない。
- ▶ 書けない。
- ▶ 話せない。

2. 学力(知識と学習スキル)の不足

- ▶ 色々なことを知らない。
- ▶ 深く読んだり理解できない。
- ▶ 考え方が浅い。
- ▶ リサーチが浅い。
- ▶ ロジカルに説明できない。

3. 目的の欠如

- ▶ 英語の上達を目的に留学している？
- ▶ 海外体験の一貫として留学している？
- ▶ 「大学留学 = 大学進学」という認識が不足している？

Part III. 大学留学の現実 2

(TUJ Bridge Program の場合)

それでも大学は容赦しない

シラバス

x5



英語がわかってても
理解が難しい
シラバス



2週目： 課題開始



学期13-14週目：課題ラッシュ

Class 1: Essay 3 Final Draft & Final Writing Portfolio Due

(エッセイ3の最終版と学期末ライティング・ポートフォリオの締め切り)

Class 2: Final Examination

(学期末試験)

Class 3: Group Presentation & Final Examination

(グループプレゼンテーションと学期末試験)

Class 4: Team Presentation

(チームプレゼンテーション)

Class 5: Final Examination

(学期末試験)

Part IV. 日本人留学生の本音

彼らが留学開始 2 週間目に思うこと

日本人留学生の声

- ▶ 日本の学校で教育を受けた学生で、今学期（2019年秋学期）から Bridge Programに入学した方を対象にアンケートを実施。質問は下記。
- 1. Bridgeに入学して2週間ほど経ちましたが、授業や課題の印象はどうですか。
- 2. 実際にTUJで授業を受けてみて、入る前にイメージしていたのと同じだった点、違っていた点は、それぞれ何ですか。
- 3. 今Bridgeで何を一番学んでいる感じがしますか？
- 4. 事前に準備をしておけばよかったと思うことはありますか？二つお書きください。
- 5. この2週間で自分の中で変化したと感ずることはありますか？それはどんなことですか？

Part V. 留学準備

日本でできることはもっとある

英語

1. Readingの教え方を変える

2. Essay Writingを教える (教えられる人が不足!)

学力 (知識とスキル)

1. 日本語によるアメリカ式の授業
2. 日本語で知識をつける

目的

1. 英語力は日本でつけてから行く
2. 大学留学するのなら現地でしか学べない専門分野を学ぶ
3. 留学でunreplaceableな人材になる

Part VI. 究極の提案

グローバルスタンダードを目指したカリキュラム作り

小学校

- ▶ 音
- ▶ 単語
- ▶ SV、SVC、SVOくらいの文章

中学校のように授業として教えるのではなく、英語に触れる、または浴びるという感じ。

中学校

- ▶ 「基礎」とはアメリカの小学4年生くらいのレベルのReadingが瞬時にできて感想が言えたりするといいい。

例: 次頁

英語の基礎を習得 (4技能)

高校、その1：英語で授業

- ▶ 学年ごとに最低1教科は英語で受ける。下記の中から各自1教科を選択:

社会
科学
文学

- ▶ 「森から葉っぱ」の順番で教える
- ▶ ネイティブの先生に英語で教えてもらう

高校、その2：英語の授業

- ▶ 英語の授業は前頁のクラスの言語面のサポートとして行う
- ▶ 日本人の先生に日本語で教えてもらう
- ▶ 英語の授業では、さらに大学受験のための英語も教える

最後に

▶ 「日本人はこのように考えているのではないか？」への私たちの考え

1. 留学 = 英語が上達する

大学留学の場合、英語が上達するというよりは、別のタイプの英語を学ぶのだと思う。

2. 留学 = 短くてもしないよりはいい

留学の中身次第ではあるが、将来のグローバルリーダーや人材を増やしていきたいのであれば、1か月程度の留学(研修?)を増やすだけでなく、海外の大学や大学院を卒業する正規留学生の数も増やしていくといいと思う。

3. 日本人は英語ができない = 日本の英語教育のせい

そうとは言い切れない。日本の英語教育を受けて海外で活躍する人も多い。しかし、留学へのスムーズなトランジションを考えると、英語が発展するようなカリキュラムが高校にあってもいいかもしれないと思う。

Thank You